



TIAニュース



財団法人栃木県国際交流協会  
Tochigi International Association

# やあ!

2001  
NOVEMBER  
No.76 11

WORLD HERITAGE  
世界遺産



▲ハンガリーのジュール中心部から南東へ21kmにハンガリア・ベネディクト派総本山のパンノンハルマ大修道院がある。高さ282mの丘にそびえるこの修道院は、996年にデュークケーザによって創設された。竣工は1001年。聖イシュトバーンのもと、ボヘミアのブレノフから来た修道士達によって完成。現存する最古のキリスト教会であり、ハンガリー唯一のベネディクト派修道院となっている。

## カメラルポ

### とちぎインターナショナル フェスティバル 2001

- ◆ J E T コーナー クアン・ニー・ケイミーさん（シンガポール出身）
- ◆ トピックス フランス・ヴォークリューズ県から大学生と高校生が来県  
フィリピン料理教室が終了
- ◆ 国際交流団体紹介 カンボジアっこ支援の会（C C A）
- ◆ こんな店あんな店 トラットリア・カサリンゴ（イタリア料理）

**TIAホームページ**

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

# JETコーナー

外国語指導助手  
クアン・ニー・ケイミーさん  
(シンガポール出身)

お茶はいかがですか？



人生には一杯のお茶のようにシンプルでありながら満足感を与えてくれるものがあります。

例えば、緑茶はいろんな人たちに愛飲されているため、日本では職場やレストランの他、居酒屋でも出されます。中国系シンガポール人である私は、レストランや中国寺院を訪れたときに、いろんなお茶を楽しむことができます。

中国では「チャ」と呼ばれ、5000年前の神農皇帝時代に初めて飲まれたといわれています。皇帝は衛生的な理由から、湯を沸かして飲んでいました。ある日、側近が湯を沸かしている時、枯れ葉がそこに舞い込み、それを飲んだ皇帝が、その爽やかな風味に感動したことが、「チャ」の起源とされています。

ヨーロッパ、アメリカ、インド、タイの人々はお茶にミルクや砂糖を入れて飲みますが、中国や日本はそのままで楽しめます。

お茶は、製造方法によって、3つに大別できます。

中国緑茶の龍井や毛峰で知られる非発酵茶は、葉そのままの色をしています。

完全発酵されているのが黒茶です。中国ではその色から紅茶（赤いお茶）と呼ばれています。イングリッシュ・ブレックファースト、ダージリン、アッサム、オレンジ・ペコ等が琥珀系のお茶として有名です。

緑茶と黒茶の中間にあるのがウーロン茶のような半発酵されたお茶です。代表的なものに鉄観音や水仙等があります。

日本の茶道のように、中国茶の入れ方や飲み方は複雑なアートとして、幾年にも渡り変化を遂げています。

お茶を飲むこと、特に緑茶を飲むことはゆったりと時間を楽しむのに最適です。緑

茶は風味が良く、苦いです。お茶はリラックスできるだけでなく、ビタミンやミネラルを豊富に含んでいます。そのため、心臓病や癌に良いだけではなく、二日酔いにも効果的です。ですから、是非、ゆっくりと座わり、リラックスしながらお茶を楽しんでみてください。

中国の有名なことわざに、「お茶を一日我慢するくらいなら塩を三日我慢したほうがまし。」といわれるくらい中国人には欠かせないものがお茶なのです。

## TEA, anyone ?

"Rather go without salt for three day than without tea for a single day."

...A popular Chinese proverb

There are few pleasures in life as simple and yet as fulfilling as a cup of tea, for example, is widely enjoyed by many. In Japan, tea is served in the office, restaurants, and even the Izakayas. Being a Chinese Singaporean, I get to enjoy different kinds of Chinese tea in restaurants and even when I visit Chinese temples.

In China, tea is called 'cha' (茶). It is said that tea originated from China. According to legend, tea was first discovered during the reign of emperor, Shen Nong about 5000 years ago. The emperor insisted on drinking only boiled water as a hygiene measure. One day, while a servant was boiling for the court, some dried leaves from a nearby bush fell into the water. The emperor drank some and found the liquid surprisingly refreshing and tea was thus discovered.

Most people from Europe, America, India and Thailand drink tea with milk and sugar. However, in China and Japan, tea is usually enjoyed plain.

There are basically three types of tea according to different processing methods:

Green tea retains the original color of the leaves by skipping the process of fermentation. Some of the most well known Chinese green teas are LONGJING (Dragon's well) and MAOFENG (Summit on Yellow Mountain).

Tea that are fermented are called black tea. In China, this type of tea is called HONG CHA (red tea), named after the color of the infused liquid. English Breakfast, Darjeeling, Assam and Orange Pekoe are popular variants of this amber brew.

Oolong tea which undergoes partial fermentation is midway in color and taste between black and green tea. Popular variants include TIE GUAN YIN (Iron Goddess of Mercy) and SHUI HSIEN (Water Fairy).

Like the tea ceremony in Japan, the preparation and drinking of Chinese tea is an intricate art that has evolved through the years. Drinking tea, especially green tea, has become a perfect pastime for me. I think green tea has a delicate and astringent taste. Tea is not only soothing and useful for inducing feelings of relaxation, it also contains vitamins and minerals. It helps reduce heart disease and cancer. Besides that, tea is also well known to be an effective cure for hangovers. So when you are ready, sit back, relax, inhale the fragrance and slowly enjoy your tea.

## 国際豆知識

### バイオテロリズムについて

バイオテロリズムとは生物学的な兵器による大量同時殺人のこと。生物兵器テロともいう。生物兵器は、化学兵器と違い、人から人へ拡散・伝播することから、パニックをひきおこす等、社会に打撃を与えることができる。また生物兵器は、輸送や拡散が容易である上、致死率が高く、しかも対策に特別な準備を必要とすることが多い。

なお、こうした感染症の治療に使用される薬品には、日本では保険適用範囲外のものがあるので注意が必要である。

バイオテロに関する自己防衛手段として考えられるのは以下のとおり。

①風評を鵜呑みにせず、正しい情報を入手する。

②疑わしい場合は、最寄りの保健所（または国立感染症研究所）に連絡する。自分の居住地の管轄の保健所の場所や電話番号等は、普段から確認しておく。

# トピックス TOPICS

## フランス・ヴォークリューズ県から 大学生と高校生が来県

栃木県が友好交流を行っているフランス・ヴォークリューズ県から2名の大学生が9月30日～10月9日、また5名の高校生が10月29日～11月10日に来県した。

大学生の2名は、アヴィニヨン市にある食品産業高等学院（ISEMA）で経営学を勉強しているカミーユ・シポーさんとアルノー・ファレさんで、栃木県内のワインの市場調査や、東京にあるフランス大使館経済商務部でのワイン試飲会と食材の試食会及び都内における市場調査を行った。10月7日・8日の両日は、県立博物館でワイン

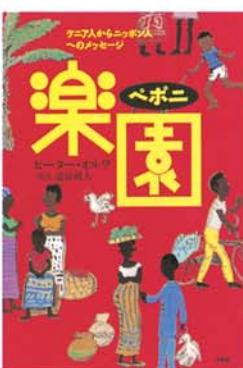


▲博物館で行われたワインセミナー

## ■TIAライブラリー案内■

（貸出のお問い合わせはTIAまで）

### ●楽園（ペボニ）



ケニアと日本は、かなり遠く離れている。そのため、お互いの国の文化についての情報は皆無に等しい。日本の車や電化製品はケニアでも有名だが、日本人の生活や文化についてはほとんど知られていない。同じように、日本でもケニアについて

は、あまり多く知られていない。

そのため、お互いの国の文化についての情報は皆無に等しい。日本の車や電化製品はケニアでも有名だが、日本人の生

活や文化についてはほとんど知られていない。

日本とかかわりをもって21年間という長い間、作者は伝統文化において、ケニアと日本では、むしろ共通することが多いと実感している。自分たちの文化へのアイデンティティーを大切にしながら、お互いの素晴らしいをこめて、作者が今まで体験してきた伝統的なアフリカの生活文化を、日本と比較しながら面白おかしく描いた一冊。とっつきやすい内容なのでぜひ一読されたい。  
(PHP研究所発行／ピーター・オルワ著)

### ● ブラジル文学事典

ブラジル発見500年を記念して出版された本格的文学事典。ブラジル文学の起源から近代主義までブラジル文学史を知るにはこの一冊で事が足る。

ブラジル文学は、伝統的なヨーロッパ文



宇都宮女子高校で琴を体験する  
日仏高校生

専門家の2名の講師を招いて、一般県民を対象にしたヴォークリューズ県ワイン紹介セミナーを行い、大学生もPRに貢献した。

一方、日仏高校生の相互派遣を行っている「日仏青少年短期研修事業」のフランス高校生受入れでは、ヴォークリューズ県のヴァル・ド・ドランス高校等からエンギュム・オレリさん他4名の高校生が、引率のヴォークリューズ県議会職員のルセ・クリスチアンヌさんとともに来県した。

県内外の視察のあと、県立宇都宮女子高等学校で体験通学を行った。5名の高校生は、同校の生徒宅にホームステイをしながら、日本の高校生とともに、それぞれの授業に参加し、各自が充実した日本での高校生活を自分の肌で感じながら、同時に、日本の文化等を学びとった。また、益子町では栃木県の伝統工芸である草木染の見学や益子焼のろくろ体験をして、大変興味をもったようだった。

また、ホストファミリーと過ごした一週間は彼らにとって生涯忘れられない思い出となり、帰国後も彼らとの交流が続くことでしょう。

## フィリピン料理教室が終了

民間国際交流団体の「国際バガサの会」が、とちぎ国際交流センターの調理室を利用して行っていた「フィリピン料理教室」全4回の講座が終了した。

今回の料理教室は昨年行った「タガログ語教室」に続き、第二弾として開催したもので、まだ日本人にはなじみの薄いフィリピン料理を実際に参加した人たちに作って味わってもらおうという企画。

今回の料理教室では、点心のルンピアン・シャンハイ（上海風春巻）やハロハロ（ナタデコ入りアイスクリーム）などの軽いものから、アドボ（豚肉の煮込み）やチョブソイ（野菜炒め）など本格的フィリピン料理までバラエティに富んだ構成で、4回講義を受けるとフィリピンのコース料理が作れるようになっていた。出席した人たちも和気あいあいとした雰囲気のなかでフィリピンの食文化の理解を深めていたようだ。



慣れないフィリピン料理を作る  
参加者たち



### ブラジル(発見)500年、記念出版!

「ペルデアマレーロ」里住林と貴重の蔵をクローズに解説するために、500年にわたる文学基盤を、文化、社会、政治等の視座から通説する本邦初の画期的な文学事典。  
化に加えて、移民の国特有の多民族社会を反映した黒人やインディアナ・スタ文学、日系コロニア文学、そして地方主義文学に、近代化や大衆消費を抜きにして語れないモダン、ポストモダン、独特の都市小説など多種多様なジャンルを包含しています。本書は、5世紀にわたる歴史の流れのなかで、この国の特色である異文化の融合による国独自のものを創り上げていく奥の深いブラジル文学の所在について論及する事典。

(彩流社発行／田所清克・伊藤奈希砂共著)



▲大いに盛り上がったフィリピンショー

カメラルポ

# とちぎインターナショナルフェスティバル 2001

21世紀初めの「とちぎインターナショナルフェスティバル」は、会場を今まで行っていたとちぎ国際交流センターから県子ども総合科学館に移して10月14日(日)に開催された。開催当日はすがすがしい秋晴れで、会場には子供からお年寄りまで5000人以上が集まり大変盛況だった。ビッグパラソルのステージでは各国の歌や踊りが披露され、観客を魅了していた。また、多目的ホールや野外テントでは、各参加団体の外国の文化を紹介する催しや試食等があり、大変なにぎわいだった。



▲日本の伝統音楽津軽三味線



▲ダンスあり、歌ありの楽しいアフリカ音楽



▲多目的ホールの参加型国際理解教室（フォトランゲージ）



▲屋外テントの餅つき

# TOCHIGI INTERNATIONAL FESTIVAL 2001



▲姿川第一小学校児童による吹奏楽演奏



▲多目的ホール内の国際協力事業団紹介ブース



▲屋外テントのフィリピン協会の南国ムードたっぷりのブース



▲ビックパラソル前



▲多目的ホール内の特設和室のお茶会の様子



▲多目的ホール内の民族楽器に興味を示す子どもたち



▲屋外テントのタイ料理（タイの民族衣装で）

■主催 財団法人栃木県国際交流協会

■共催 国際協力事業団東京国際センター

■後援 栃木県・栃木県教育委員会・栃木県市長会・栃木県町村会・宇都宮市・宇都宮市教育委員会・下野新聞社・NHK宇都宮放送局・栃木放送・エフエム栃木・とちぎテレビ・宇都宮ケーブルテレビ

■協賛 あしぎん国際交流団・とちぎ農産物マーケティング協議会

■協力 アジアの問題を考える会・アムネスティインターナショナル・いっくら国際文化交流会・宇都宮SGGクラブ・宇都宮ユネスコ協会・エクバットグループ栃木・小山国際交流会おいひあ・小山市国際交流協会・開発教育ネットワーク・喜連川日中友好協会・グローバルグループ・けんちゃんの会・交流会「仲間」・国際バザーカー・産業雇用安定センター・シャブナール・とちぎ架け橋の会・世界平和女性連合栃木県本部・栃木インドネシア友好協会・栃木県海外移住家族会・栃木県台灣友好協会・栃木県日韓女性親善協会・栃木フィリピン人協会・財団法人とちぎYMCA・半田きもの学院・モンゴル交流協会ナリマダル・UK II(宇都宮国際交流会)・ワサインターナショナル・栃木県子ども総合科学館・栃木県ベタンク協会

# 国際交流団体紹介

## カンボジアっこ支援の会

カンボジアのことどもたちへの支援活動を通して、日本の青少年の国際理解教育を推進することを目的に設立されました。

主な活動として、学校に行けないカンボジアのことどもたちのために、日本の小中学校のことどもたちが、学校、地域ぐるみで集めてくれた文房具や楽器などを会員の手で整理をし、現地のNGOのスタッフとの連携のもとに、それらを直接持参をして交流をしています。

帰国後、見たまま、感じたままのカンボジアを写真パネルやビデオに作成し、学校、公民館、各種のイベントなどで講演したり、展示させていただいたりすることで、青少年の国際理解教育のお手伝いをしています。

今年度の大きな活動は、うつくしま未来博の国際交流ゾーン=ワールドビレッジへの参加でした。1週間のブースの出展でしたが、カンボジアの現状紹介とカンボジア製品の販売やヌーニ村の校舎増築のための赤レンガ募集のPRをしました。後半のプログラムに、「色のない空」の著者である久郷ポンナレットさんにも運営要員として協力していただきました。カンボジアの民族衣装を来て、「カンボジアの踊り」を踊り始めるとそれを見ようと来訪した人々はいつのまにか踊りの輪に加わり、わがブース周辺はカンボジアの雰囲気で賑わいました。予想を越える来訪者、そこでいろいろな人たちとの出会いがありました。次の活動へステップアップする元気をたくさんいただきました。

みなさんに素顔のままのカンボジアを紹介し、カンボジアのことどもたちの現状を知りたいと思います。

次のビデオはTIAにもありますのでぜひご利用ください。

ビデオ「カンボジアの子どもたちは、今 Part 1 文房具のゆくえ」(15分)  
ビデオ「カンボジアの子どもたちは、今 Part 2 わたしたちのボランティア」(17分)

問い合わせ先: カンボジアっこ支援の会事務局 橋本TEL028-621-0087 工藤TEL028-648-5918



▲未来博でのブース

## こんな店 あんな店

### イタリア料理 トラットリア・カサリンゴ

今市市になんと「世界ピザ選手権」出場経験のあるオーナーのいるイタリア料理店「トラットリア・カサリンゴ」がある。お店の「カサリンゴ」とは、本来はイタリア語の手作りという意味であるが、たまたまリンゴ通りにあり、カーサ（家）という意味をマッチングしたとオーナーは話す。

オーナーやお店のスタッフは、毎年誰かが、神奈川県や長野県にあるピザハウスの

仲間とともに「世界ピザ選手権」に出場しているという。

入口から店内に入ると正面にピザを焼く釜が見え、ピザハウスそのものである。オーナーによれば、最初はピッツエリア（ピザ専門店）としてオープンさせたかったようだが、やはり地元の人々がピザよりパスタのほうを好むためイタリア料理店として開店したという。それでも最近はランチにハーフセット（¥1,000）と称してみんなにピザを食べてもらおうというオーナーの考えから、ハーフパスタとハーフピザというランチメニューを加えたため、最近はピザを食べてくれる人が増えてきたという。

ピザのおいしさの決め手は、水と粉という。粉は全てイタリア産のものを使用し、チーズも日本では2店でしか使用されていないイタリア・ブスタファ社のモッツアレラチーズを使用し作っているという本格派。人気があるのはマルゲリータ（バジルとモッツアレラチーズの代表的なピザ）（¥1000）だそうだ。

ディナーのコース料理は3000円からで、イタリア料理のコースは、基本的にはフランス料理のコースと同じだが、スープがなく、パスタかピザがある。オードブル（前菜）のあとには、パスタかピザが出て、肉か

魚のメインのあと、デザートとコーヒーが出るのが普通。

デザートには、ジェラートを出したりもしていて、今の時期だと紫いもか栗のジェラートだという。

冬限定での挽き肉やきのこのラザニアや一日限定10食の生パスタもお薦め。

ワインでは、白ワインはソアヴェ（¥3000）やカヴィ（¥2800）などイタリアの有名なワインが人気があり、赤ワインはキャンティクラシコ（¥3000）、モレリーノディスカサーノ（¥3000）、ロッソコーネロ（シチリアワイン）（¥2800）が人気がある。フランスのボジョレヌーボーと同様その年にとれた赤ワインの「ノベロ」も提供している。

ワインを飲みながら本場のピザを味わってみたらいかが。

▶住所・電話=今市市本町19-7 永岡ビル1F TEL0288-23-0887



▶レストランの入口



# 情報発信 地域の国際交流案内

## ★開発教育関東地域セミナー栃木大会

あたらしい国際理解セミナー

「われら地球人」

▶日程=2002年1月26日(土)~27日(日) ▶

会場=高根沢町元気あっぷむら(塩谷郡高根沢町元気あっぷむら1番地) ▶定員=約

100名(申込順)宿泊可(70名) ▶締切=12

月下旬(予定) ▶プログラム=1月26日(土)

第一部参加型学習ってなーに「ワーク

ショップいろいろ体験」、交流会「友達の輪

を広げよう」1月27日(日)第二部分科会

(第一分科会)アイスブレーキング特集「自

分の活動と組み合わせてみよう。」(第二分

科会)学校と地域をつなぐ「生きた総合学

習の時間」をデザインする(第三分科会)

立場を変えて見る「南からの視点で」▶申

込み=開発教育ネットワーク事務局 〒

320-0041宇都宮市松原2-7-12YMCA教育セ

ンター内 TEL028-624-2542 FAX624-2572

EMAIL:tyint@po.ssctnet.or.jp

## ★「かぬまWORLD FESTIVAL」

世界の文化や音楽を多くの市民、在鹿外

国人に紹介、また、同じ目の高さで楽しく

交流する場を提供することで、国や民族を

越えた相互理解を目指す。▶日時=平成13

年12月2日(日)11:00~15:00 ▶参加対象=

一般市民および在日外国人 ▶場所=鹿沼商

工会議所・催事ホールと情報センター(イ

トヨーカドーのそば) ▶内容=①催事ホ

ール会場内催しおよび屋外の部 11:00~

15:00(各国料理試食販売、文化紹介、フリ

ーマーケット、民芸品販売、そばの実演、世界のビール・日本酒販売、和太鼓の演奏、折り紙の体験・紹介、外国人への情報コーナーなど。) ②▶B・Bモフラン"アフリカ音楽コンサート(会場:マルチメディアホール5F(鹿沼市民情報センター)13:30開場 14:00開演 演奏時間:1時間半程度 前売り:1000円当日券:1200円 ▶問い合わせ先=鹿沼市国際交流協会 TEL 0289-63-2264 FAX 0289-63-2279

## ★タンザニア・キリマンジャロ植林ワークキャンプ

▶日程=2002年2月7日(木)~2月27日(水) ▶

参加費=30万7千円 ▶募集人員=14名~21名 ▶応募締切=12月15日(土) ▶問合せ=タンザニア・ポレボレクラブ(担当:藤沢) 〒154-0015 東京都世田谷区桜新町 1-20-2-202 TEL/FAX:03-3439-4847

EMAIL:pole2club@hotmail.com

## ★第13回模擬国連会議全日本大会

21世紀・国連システムの展望と検証

~過去・現在・未来の国連の姿をみつめて

~▶開催日程=12月26日(水)~29日(土) ▶

開催場所=ホテルメトロポリタン(東京都豊島区・池袋) ▶参加費=27,500円 ▶定員=224名 ▶募集締切=12月5日(水)

▶問い合わせ=第13回模擬国連会議全日本大

会(AJMUN2001)事務局 EMAIL:info@ajmun.org TEL 090-9142-5026 ホームページ

http://www.ajmun.org/

## ★春の海外語学研修

▶研修国=アメリカ・カナダ・イギリス・

オーストラリア・アイルランド・マルタ・フ

ランス・スペイン・イタリア・ドイツ・エク

アドル ▶時期=2002年1月~3月 ▶問い合わせ

わせ=EFカレッジ日本事務局 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-6-10MFビル14号館 6F TEL03-5722-3011 FAX03-5722-3001 ホームページアドレス http://www.ef.com メールアドレス info@intacc.ne.jp

## ★第36回ピースボート地球一周の船旅

地球各地の寄港地のNGOや学生たちと交流しながら、草の根交流をするクルーズ 2001年12月25日~2002年3月31日(96日間)

▶予定紀行地域=アジア・アフリカ・南米大洋州 ▶資料請求先=ピースボート事務局 〒169-0075東京都新宿区高田馬場3-13-1ノークビル4階 TEL.03-3363-7561 FAX.03-3363-7562 ホームページ http://www.peace-boat.org/ email:XLC00501@nifty.ne.jp

## ★2002年度アメリカ・カナダ高校交換留学

留学期間=アメリカ2002年7月中旬~

2003年6月 カナダ2002年8月下旬~2003

年6月 ▶募集人員=アメリカ80名、カナダ15名 ▶応募資格=留学出発時に公・私立高校または高等専門学校在籍する15~18歳までの者。日本国内に居住している者。▶

プログラム費用=アメリカ¥990,000カナダ¥1,290,000 ▶資料請求・問い合わせ=AISE日本事務局 〒150-0001東京都渋谷区神宮前2-3-30神宮前ベーシックビル3F TEL.03-5770-5923 FAX.03-5770-6961 (平日9:30~18:00) EMAIL アドレス:exchange@aise.gr.jp ホームページ: http://www.aise.gr.jp

## ★上海理工大学中国短期留学参加者募集

▶日時=2001年12月21日~2002年1月7日

▶定員=80名 ▶募集締切=12月10日 ▶資料請求・問い合わせ=日中文通クラブ TEL:06-6301-0739 FAX:06-6301-4923

ツーリストのギフトカード **B'way**

## 全国共通ギフト券

デパート・スーパー・専門店 レストラン 旅行

春の贈り物に。

全国300,000店で使える、  
旅行もできるスーパーギフト。

「B'way」は贈られた方の好みで、自由に使っていただけるギフトカードです。全国のデパート、スーパー、専門店、レストラン、ホテルなど全国300,000店で商品券として使えるほか、近畿日本ツーリストで旅行券としてお使いになります。券種は、500円券、1,000円券、5,000円券、の3種類がございます。



人が好き。地理が好き。旅が好き。



近畿日本ツーリスト



宇都宮支店  
〒320-0801 宇都宮市池上町2-2  
TEL 028-633-2151

**Konica**



## 国産第1号機の実績と信用

情報マシンとシステム販売



**栃木システム販売株式会社**

代表取締役 大金幸司

本社 〒321-0933 宇都宮市築瀬町1785  
電話 (028) 637-1933(代) FAX (028) 634-4191

# TIA Information Corner

## ★日本財団「ボランティア活動助成金」申請受付のご案内

(一般助成) ▶ 対象事業= こともの健全育成、在日外国人支援、里山の保全活動、障害者の自立支援、保健・医療、まちづくり伝統文化の伝承など様々な活動 ▶ 対象団体= 国内に所在するボランティア団体と特定非営利活動法人(NPO法人) ▶ 対象経費= 事業(講習会・イベント又は資機材購入等)に直接要する経費 ▶ 対象期間= 2002年4月1日~2003年3月31日までに実施する事業 ▶ 助成金額= 原則として100万円を限度する。(「はじめの一歩」助成) 活動をはじめて間もない団体を優先に助成。 ▶ 対象事業= ①里山の保全活動 ②在日外国人のための日本語教室 ▶ 対象団体= 活動を始めてから2年未満のボランティア団体と特定非営利活動法人(NPO法人) ▶ 対象経費= ①についてはフィールドで直接使用する資機材の購入費。②については教室で使用する教材購入費。 ▶ 購入時期= 2002年4月1日~2003年3月31日 ▶ 助成金額= 30万円を限度とする。 ▶ 応募期間= 2001年11月1日(木)~12月7日(金) 当日消印有効 ▶ 申請資料請求・問合せ先= 日本財団ボランティア支援部助成金担当〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 FAX:03-6229-5170ホームページhttp://www.nippon-foundation.or.jp/

## ★アフガニスタン難民緊急救援募金にご協力ください。

活動地域= ヘラート州、カンダハル州、バダフシャン州、ハザラジャット州 ▶ 期間= 10月から8カ月 ▶ 配付物= 食糧配給、飲料水の確保、次の耕作のための種の配布 ▶ 救援募金の送り方= インターネットか郵便振

替で。 ▶ 実施期間= 10月17日~12月末 ▶ 問合せ= 特定非営利法人シャープラニール=市民による海外協力の会〒169-8611東京都新宿区西早稲田2-3-1 早稲田奉仕園内 TEL 03-3202-7863 FAX 03-3202-4593 E-MAIL:info@shaplaneer.org website: http://www.shaplaneer.org

## TIA日誌

2001年9月1日~2001年10月31日

- 9/1 TIA ニュースやあ!on TV撮影(センター)  
とちぎプロパンス協会役員会(センター)
- 9/3 海外技術研修員定例ミーティング(センター)  
とちぎインターナショナルフェスティバル第2回運営委員会(子ども総合科学館)
- 9/6 第13年度外務省長期青年招聘者いっくら受入理事長表敬(センター)
- 9/12 青年海外協力隊帰国報告会(センター)
- 9/14 城東小学校センター見学(センター)
- 9/17 「TIA ニュースやあ!on TV」放映
- 9/22 クラブ・リセ第2回ミーティング(センター)
- 9/30 ヴォーキューズ県大学生受入(~10/9)
- 10/2 海外技術研修員定例ミーティング(センター)  
県費留学生定例ミーティング(センター)
- 10/3 南那須町江川小学校センター見学、ハロウィン講話(センター)

- 10/5 星が丘中国際理解講座およびセンター見学(センター)
- 10/7 ヴォーキューズ県ワインセミナー(~8日・県立博物館)
- 10/12 国際理解教育講座講師派遣(安塚小・岡本養護学校)
- 10/14 とちぎインターナショナルフェスティバル(子ども総合科学館)
- 10/18 海外技術研修員県内視察(日光)
- 10/23 国際交流相談業務担当者研修会(センター)
- 10/29 ヴォーキューズ県高校生受入(~11/10)
- 10/29 ヴォーキューズ県高校生協会理事長表敬訪問(センター)

## TIA賛助会員募集中!

賛助会員になっていただきますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等をお届けします。またテレビ方式変換ビデオ(海外→日本、日本→海外)をご利用できます。その他、会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使わせていただいており、地域の国際化のために役立っています。

### <新規賛助会員の方々>

団体: ソフィアの会様、とちぎ通訳ガイド協会様  
個人: 高田知佳様、小田部秀様、大倉康裕様、ミランダ・ロバートソン様、佐々木京様、玉生麻子様、関根房三様  
~ご入会、ありがとうございます~

○今年のインターナショナルフェスティバルは、いい天気にめぐまれ、会場も県子ども総合科学館の敷地内ということもあって、家族連れで来場した人が多かった。大成功でした。

○前回、台風で中止になった海外技術研修員の日光視察は、10月18日になったが、あいにくの雨。誰が原因か・・・雨男か雨女がいるようだ。というわけで華厳の滝は真っ白い霧につつまれてなにも見えず観瀑は断念した。

○今回の表紙はハンガリー政府観光局から資料を提供していただきました。大変ありがとうございました。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄附金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

